



大四日市まつり (四日市市)

8月の第1土日に開催。初日(土曜)は「おどりの日」として市民参加の踊りなどを中心に、2日目(日曜)は「郷土の文化財と伝統芸能」を中心に、市内各地の祭礼行事を、各年ごとのテーマに沿って紹介する構成になっています。文化都市四日市を創る「大四日市まつり」は、夏の風物詩として市民に親しまれています。

写真提供:三重県観光連盟

目次・主な内容

■ Top News 定時会員総会・特別講演会	2	■ 暑中見舞い	15
■ トップインタビュー	6	■ 委託事業News・県労委News	19
■ 協会事業活動報告	8	■ 三重県News	20
■ 会員発HOTニュース	13	■ 事務局News	21
■ 三重労働局News	14	■ 業務日誌	22

平成25年度 定時会員総会



総会風景

平成25年度定時会員総会を6月6日（木）津都ホテル5Fで会員企業から66名のご出席のもとに開催いたしました。

総会では、岡本会長の開会挨拶に続いて審議に入り、平成24年度事業報告並びに収支決算の報告、及び監査報告が行われ、満場一致で承認されました。引き続き、平成25年度事業計画案並びに収支予算案が審議され、原案通り承認されました。

平成25年度の事業計画としては①サービス機能強化及び組織拡大活動、②地域の雇用・人材活性化への貢献③日本経団連、中部経協、各県経協及び各団体との連携強化の3点が掲げられました。

続いて、役員人事の件について審議され、満場一致で原案通り承認されました。

今年度は、新たに次の副会長2名が増員され、ご就任頂きました。

●井村屋グループ株式会社

代表取締役社長 浅田 剛夫 氏

●国立大学法人三重大学 学長 内田 淳正 氏

今後、本協会の活動内容の一層の充実を図ることを目的に、特に中勢地区には有力企業がありなが

ら副会長が居なかった点、また若い人の就職や企業と大学の結び付き等を強化し、更に産学連携を図るためにそれぞれご就任頂きました。（下記役員就任一覧参照）以上の審議の他、委託事業等の報告がなされました。

会員総会終了後、特別講演として、「世界を目指す究極のチームワーク・リーダーシップ」をテーマに、シンクロスイマー 武田 美保 氏より躍動感あふれるお話を頂き、参加者（100名）一同感銘した講演会でした。



挨拶する浅田新副会長

平成二十五年年度

役員就任一覧

（敬称略）

会長 岡本直之（再任）

（三重交通グループホテルインクス株式会社 代表取締役社長）

副会長 高崎征輝（再任）

（株式会社安永 取締役相談役）

副会長 稲葉邦成（再任）

（長島観光開発株式会社 代表取締役社長）

副会長 浅田剛夫（新任）

（井村屋グループ株式会社 代表取締役社長）

副会長 内田淳正（新任）

（国立大学法人三重大学 学長）

副会長 小川謙（新任）

（日本トランスシティ株式会社 代表取締役社長）

副会長 樋田昭和（再任）

（シンフォニアテクノロジー株式会社 伊勢製作所所長代理）

副会長 渡辺友治（新任）

（株式会社東芝セミコンダクター&ストレージ社四日市工場 工場長）

専務理事 西場康弘（新任）

（三重県経営者協会）

※尚、菊川靖之、小林長久及び馬場嘉明は副会長を、
横田正典は専務理事を退任致しました。
在任中に賜りましたご懇情に対し厚くお礼申し上げます。
※浅田剛夫は6月21日付けで代表取締役会長に、樋田昭和は6月27日付けで眞壁雅夫に交代しました。

経協専務理事交替挨拶



専務理事

西場 康弘



横田 正典

平成25年度経協定時会員総会におきまして、専務理事に、ご推挙頂きました西場 康弘でございます。全国的にも稀な長期間専務理事を務められた初代専務、故南 岩男氏（39年間）第2代目、平松 敏氏（22年間）、3代目、横田 正典氏（6年間）の後を継いで、経協専務理事の任に当る責任の重大さに身の引き締まる思いでございます。

私は、昭和58年に三重県経営者協会に入職致しまして、丁度30年が経ちました。この30年の間、会員の皆様方、関係諸団体の方々からご支援を頂き、また諸先輩の方々のご支援、そして何よりも、3人の専務に任せさせて頂きました。初代南専務には、入職当時2年ほど抱持ちで、様々な会員企業や関係団体にお伴させて頂き、公私に亘って色々ご指導頂き、また2代目平松専務には22年間に亘って、労使関係の在り方を中心に教わり、3代目横田専務からは、民間企業からお越し頂き現場の労務管理の厳しさを6年に亘りご指導賜りました。

まだまだ若輩者ではございますが、これまでの経験を活かし、67年と歴史ある経営者協会の4代目専務理事として恥じないよう、伝統を守りつつも、時代の変化にマッチした事業に積極的に取組み、皆様のお役に立てます様、誠心誠意 努力して参る所存です。

特に「企業は人なり」といわれるように、人に関するあらゆる問題を会員に啓蒙し、これからも「健全な労使協調の構築」を軸に、地域の活性化に向けた「地域に貢献する経営者団体」としての使命を果たして参ります。

そして、会員の皆様に信頼と共感を持たれる協会として、事務局一同、全力を尽して参りますので、会員皆様の変らぬご支援、ご協力をお願い申し上げ就任のご挨拶とさせていただきます。

長い間、三重県内の企業で人事・労務の仕事に就いてきて、最後の8年間を当協会でご過ごすことが出来ましたことは、私にとって大変幸せなことであります。

サラリーマン一年生の時から、三重県経営者協会との付き合いは始まり、39年の歴史を有する「労務管理改善協力委員会」では生きた実務知識を学び、また、人事の担当者として欠かすことの出来ない他社の人々との交流が出来た事は大変有意義でありました。この人脈は私の大きな財産であります。

当協会の生みの親であります南岩男先生の講義は今もって忘れ難く、仕事上の大薫陶を受けました。また、平松先輩には行動力を学び、若い職員の皆さんにも頑張ってもらい、今日を迎える事が出来ました。感謝の念で一杯です。

日本の人事労務の社会も大きく変遷して参りました。「金の卵」と言われた若い人の集団就職などで高度成長を遂げ、大きく成長した日本経済も、今や少子高齢化の問題、20年間の長期低迷、グローバル化による世界的な競争、そしてIT関係の技術進歩が大きく世の中を変えました。

現在のような激変する経済社会では過去の知識・経験や慣れ親しんだ仕事のやり方に頼るのではなく、必要のないものを捨て、新たな知識、行動を組み直すという作業が必要になるのではないかと考え、次世代の若い人にバトンタッチをする時が来たと思いました。西場新専務に期待します。

多年にわたるみなさま方のご支援、ご交誼を心から深謝し謹んでお礼を申し上げますと共に、会員会社の益々のご発展をご祈念申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

特別講演会

『世界を目指す究極のチームワーク・リーダーシップ』



シンクロスイマー

武田 美保 氏

私自身、シンクロナイズドスイミングという競技

を7歳の時から28歳までの21年間、続けてきて、最終的には、他者との競争というより自分の自己実現が出来るか出来ないかという個人との戦いの競技という気がしました。特殊な競技の中、みなさまの日々の会社や経営の中でどのように取り込めるか、何か一つでもリンクする部分があれば良いと思います。

なぜ21年間続けられたのか、それはシンクロとのファーストインプレッションが鍵を握っていると思います。周りに負けなくらいに好きになれたことは、かなり私の強みになりました。好きになれたのは初日がありました。その日、コーチから「あなたはシンクロ向きよ、最初からそんなに出来る子みたことがないわ」と褒められ、それで嬉しくなり好きという感情に火をつけることになります。次の日から、こんなにも負けず嫌いだったのかと自分でもびっくりするくらいに必死になっていき、同時に始めた仲間たちの中で最初に褒められていないと嫌だと思うようになりました。競争に勝たないといけない、そのためにはどんな練習を乗り越えないとそこに到達しないのかと、しんどい練習メニューの意味を考えるようになり、そしてすごく、研究熱心・好奇心が芽生えてきました。好きだと、そのことを考えると、探るとか言うことに対して時間を費やすことが惜しくなくなりました。そして6年生のころには私はオリンピックに通じる道を自分で描けていました。オリンピック選手になれない自分のイメージは一切なく、アスリートとして目標が定まってきたときに、あの厳しさでは有名な日本代表監督「井村雅代先生」と出会いました。

中学1年生の時に井村先生にもっと近くで指導してもらいたいと、先生のクラブに移籍しました。

オリンピック3大会を自分の中で、チームとしての関わりはどのように違いがあるのか振り返って検証してみました。

まず初めてのオリンピック、アトランタ大会。当然ですが、オリンピック出場前には日本国内で飾りかけ

られる選考会があります。このまま行けば2年後オリンピック出場は堅いと思っていたのです。ところが状況は刻一刻と変わっており、当時アメリカ、カナダ、日本が世界の定位置であったのに、ロシアが台頭してきて日本は負けてしまいました。今までの戦い方では勝てない、選手の選抜方法も変えないといけないのではないかと議論になりました。そして今までの採点の計算方法が変わっていき、柔軟性を見る技術に関して高得点にしていこうとなったのです。前まで私は得意分野の倒立姿勢で不得意の柔軟性を補填していたのですが、柔軟性のかげ点が倍になったので、補填しきれないなと思い諦めかけました。だけど諦めきれません。一生懸命考えた結果、長所をとことん磨いて補填しきれないそう思い立って、自分の長所を磨きに磨いて、良いメンタルの状況で最終選考会に臨みました。選考会が今までの人生最大のピークに持つことができたのです。見事に補填する事ができました。サクセスストーリーになっているじゃないかと思われるかもしれませんが、これが間違いでした。選ばれてからがオリンピック本番に向けての合宿になっていくのに、選考会が最大のピークになってしまい、オリンピック代表になれたことで気持ちが途絶えてしまった選手が9名のうち2～3名もいれば練習にならないのです。このようなメンタルの選手を井村先生はすぐに見抜きます。この子たちに質を求めても意味がない、量で自信をつけさせるしかない、そう思われたと思います。それから、毎日10時間以上の水中練習を情性でやっているだけでした。初めてのオリンピックに出て、心地よさ・達成感なんてとんでもなく「やっと終わってくれた、明日練習が休める」これが初オリンピックの感想でした。井村先生は私たちのメンタルを見抜いていたので、こういう気持ちがしっかりしていない選手にはどんな風に演技を組めば、プログラムを作ればちょっとでも技術が確かに見せられるか、先生のそういうテクニックの賜物かもしれません。メダルは取れましたが、手厳しい言葉を頂きました。「この中で全員とは言わないがメダルを返さないといけない選手がいるはずだ。自分の胸に手を当てて聞いて見なさい」と。間違いなく私は入っていました。この気持ちのまま、「出場という自分の夢が叶ったからといってシンクロを辞められるのだろうか、私、無意味なこ

とをしてきたのだろうか？違うだろうか？」その答えを探するために4年間もう1回やってみないかと思ひシドニーを目指しました。

2回目のシドニー大会は、自分で「メダル取れたんですよ」と胸を張って皆様に言えるように、そして、先生が思い描いている技術の質と、私達8人全員が織りなす演技の風景が一致するよう全体像を見ることができると、ということがチームにおいて必要なのだと4年間で知りました。

井村先生は一貫してチームワークに関してこうおっしゃっていました。「すばらしい技術の人が自分の100%の能力で足を上げる。その1番見栄えの良い動きをする人を私は採用する。出来ていない人はどんどんそこに近づいていきなさい。この人が力を抜いてもらってみんなの方にさがってもらう、というのはいない。チームで全員が個性を殺しあってチームワークを取るのではなくて、すべての個人の能力を出し切り、1番技術の高い人にあわせる」そういう作業を繰り返していきました。

シドニーでは自分ながらに導き出せたことを後輩たちに伝えるという中堅の役どころで関わらせて頂いたと思います。そして空手をテーマに演技させてもらいました。井村先生の中でも1番感動する演技であったと言ってもらっています。私たちも良い練習が出来ました。勝負をかけたい時に、こういう演技が練習中から出来ているから絶対に今日も出来る、という自信がなければオーラは発せられないと思います。私達8人は自信を持っていました。ここで自分の演技の集大成を出さずにいつ出すのか、そう思って8人が飛び込んでいくと奇跡がおこりました。私はずっと、同じ思いでチームのメンバーと泳げていると勘違いしていた節があると思います。本当の一体感とはこんなふう



講演会風景

がるのですね。掻く手と蹴る足の強さ、全部一緒なのです。8人全員が脳の指令どおり研ぎ澄まされているのです。すると波が変に立たなくて柔らかい液体の中で終始飛び越えるように波間を泳げました。終わった瞬間に、「歴史に残る演技が出来た！。やってやった！」この達成感が選手冥利につける幸せでした。そしてなかなか褒めてくれない、一貫して妥協しないあの井村先生がどんな表情をしているのだろうと思ひ見ると、にんまりして大丸を下さったのです。それはメダル授与の時よりも嬉しかったです。

でも、デュエットの演技では、イージーミスをしてしまい、言葉も出なかったです。井村先生も怒りもせず「これがあなたたちの身につけてきた実力だったって事だな」と言われこれが妙に心に残っています。このミスで私はもう一回、体力が続くか解りませんが、やり残したまま終われない、そう思って4年間過ごしました。

そして最後のアテネ大会になります。8年目で最後、集大成にしたいと思って臨んだアテネで私はやり残さないために何が出来るだろうか。そして1年間覚悟を決めました。すると、やってなかったことがこんなにたくさんあったのかと思ひ返したのです。私はまだ自分の限界を突破していませんでした。潜在的に無理だと思っていたことも、覚悟を決めた瞬間、やりようを見つけていなかったかもしれないと思ひました。そして反復練習しないと解らない小さな変革、これを最後に感じる事が出来ました。それで自分の勝負に勝つことができました。

私はずっと井村先生に怒られてばかりでした。メンタルが強いと思って下さっていたかもしれませんが、チームの中で同じことをしていても私だけが怒られるという、どうしてこんな損な役回りなのだろうと思ひていましたけれども、これは私が乗り越えるとみんなをも巻き込むパワーがあると先生に見込まれている、こう思っただけでやってきました。

最後、演技直後に井村先生に初めて背中を抱いてもらって、「あんたの演技最高やった。人間の限界を飛び越えた姿見せてもらった。あんたのコーチでおれておもしろかった。二人の足、どっちがどっちか解らんくらい一つになった」そう言ってもらえました。

ゴールドメダルではありませんでしたが私の中で、「勝負に勝ったな」とそう思っただけで今があります。

(事務局文責)

★トップ interview★



会員企業各社、トップの素顔に迫る「トップインタビュー」。第26回は三重テレビ放送株式会社代表取締役社長 志田 行弘さんにお話を伺うことができました。



三重テレビ放送株式会社 代表取締役社長 志田 行弘さん

～放送界は今、高度情報化、国際化、そしてマルチメディア化など、急速な変革を遂げようとしています。～
御社の取り組みを教えてください。～

日本におけるテレビの歴史は60年の中で4つの大きな節目がありました。1つ目は、1956年に米国のアンペックス社が開発したビデオレコーダーの出現であります。放送を始めた当時は全て生放送、時代劇からコマーシャルまで生放送でありましたが、ビデオの出現で番組制作の方法が大きく変わりました。2つ目は、国際中継の開始であり、1963年11月23日、アメリカ大統領ケネディが暗殺された日が日米間の最初の人工衛星を使った国際中継の記念日となりました。これにより全世界の情報が映像で瞬時に放送出来るようになりグローバル化が進みました。3つ目は、カラーテレビの出現であり、1964年に開催された東京オリンピックを契機にテレビのカラー化が一気に進み、楽しさに加えて美しいテレビ画面に進化しました。

最後にやってきたのがデジタル化。デジタル化は今までの60年の歴史の変革とは比べものにならない程、大きな変化を社会に与え、震災で被害を受けた東北の岩手、宮城、福島の3県を除いて、2011年7月24日にアナログ放送は終焉をつけ、翌年4月には全国でデジタル放送に替わりました。

デジタル放送では、高画質・高音質・マルチチャンネルに加えて移動体（電車・自動車）やワンセグでも視聴可能になるなどアナログ放送に無い新たな特徴が加わり、さらに、インターネットの世界と親和性のあるデータ放送が新しい楽しみ方として活用されています。当社のデータ放送では、家庭に居ながら簡単な操作で天気予報やニュース、映画館情報など、リアルタイムでの情報取得が可能になりましたが、一方で、「三重テレビニュース」や「とってもしゃべり」などの生放送の番組は、キー局も実施していないデジタルハイビジョンの最高画質で放送しており、デジタル放送の綺麗さを実感して頂いています。

ローカル局として取り組まなければならない放送として防災情報があります。当社では、その一つである緊急地震速報のワンセグによる放送を全国に先駆けて取り組みました。新たなサービスである「ワンセグ」を活用し、気象庁の新技术による「緊急地震速報」と融合させた画期的な試験放送を実施しました。緊急地震速報をテレビ放送で発信することで、東海、東南海、南海の三大地震の発災時に防災行動の動機確立ができ、地震被害や津波被害などを軽減する効果が期待出来ます。この試験放送の成功が放送の歴史に名を残すと共に、地上波テレビで緊急地震速報の情報発信がスタートする契機になりました。

当社では、データ放送でニュース・気象情報・映画情報・自治体情報等に加えて、地域性と即時性があり生活に密着した防災情報の発信に取り組んでいます。取り分け、気象情報では、04年9月29日に三重県を襲った集中豪雨で大きな被害を受けたことを教訓に、今後の豪雨被害を最小限に食い止めようとの考えの下、通常



フルデジタルのマスター室

天気予報では発信されない独自情報を当社で企画、雨雲レーダー（ナウキャスト降雨）と称し、地図上の三重県エリアを2.5 km四方の細かいメッシュに分け、ピンポイントエリアに対応した推定雨量を30分毎に3時間先までの予想降水量として伝えています。この情報を活用することにより、土砂崩れからの避難のきっかけなど防災情報として活用でき、また、台風接近時には、ウエザーニュース社と連携して第2チャンネルを活用した防災情報を臨時に編成して減災に向けた放送を実施しています。

～地デジ化に伴い、御社では第2チャンネルも放映されていますが、今後の第2チャンネルの役割を教えてください。～

国策としてデジタル化が推進され、将来のユビキタス社会へ移行する基幹を成す転換でしたが、全国の地上波テレビ局127社にとっては莫大な費用が掛かりました。そのデジタル化のプラス面として2つのチャンネル使用が認められましたが、もうひとつチャンネルを持つという事は企画力、制作力、購買力、番組販売力と経営の決断力が必要で、現在のところほとんどの局が一波だけです。当社と東京の1社が常時放送をやるのみです。私は第2チャンネルを原則、生放送で社会と生活が本当に必要とする番組を編成し続けたいと思っています。防災情報、気象、政治経済、BBCの国際ニュースと解説、証券情報、大学の研究発表、そして県や地方自治体29市町の首長や県議会議員に出演していただくなど、まじめな番組を午前5時～午後5時まで毎日10時間、月～金曜で放送しております。

～三重県で唯一のテレビ局である御社では、今年の伊勢神宮の式年遷宮で特別番組（毎月1回・全10回）を制作・放送しております。毎回有名人を起用し、好評を得ていますが、ご苦勞などございましたらお聞かせ下さい。～

三重テレビでは40年前も20年前も同様の特別番組を企画し、放送した実績があります。但し、少々内容が堅くて難しく、三重県エリアだけの放送でした。今回は10年前からデジタルハイビジョン撮影で番組を作って放送を始め、その集大成として今年1月から10月2日遷御の儀生放送まで10回に亘り放送します。華やかに、見識ある文化人、タレント、有識者を起用し全国の16局で放送中、BSフジでも放送します。数多く、県内外のスポンサー各社から番組ご協賛を賜り感謝しております。おかげさまでご好評いただき、番組のDVD、ブルーレイ化の声も高いので秋からそのことも考えています。

～御社の未来についてお聞かせ下さい。～

やはり上質な番組をつくることです。幸い三重県は歴史と文化と豊かな自然に恵まれ、伊勢神宮という宝もあります。それ故に昔から立派な偉人も輩出していますが、奥床しい県民性もあり、そのことを知らぬ若い人達もいます。

これらの偉人たちの紹介番組や、隠れた名所旧跡を掘り起こして番組を通し、小中学生に見て知って三重県という郷土の誇りをもっと自覚して貰いたい。県域テレビ局の義務であり使命だと思って全社員が頑張っています。



対談風景

～趣味、休日の過ごし方など志田社長のプライベートについてお聞かせ下さい。～

趣味道楽や、興味の対象は多いほうだと思います。まず40年来やっている野生ツツジとシャクナゲの研究と栽培、それに読書と1970年以前に作られた映画の鑑賞、特に西部開拓劇は得意分野ですね。他にウェポン関係、サスガと山刀、写真、時計……。



◆志田代表取締役社長 略歴 昭和22年3月30日生まれ

学 歴

昭和45年3月 早稲田大学 卒業

職 歴

昭和45年4月 東海テレビ放送（株）入社

平成17年1月 同社 役員待遇 G.M

平成18年6月 三重テレビ放送（株）常務取締役就任

平成20年6月 同社 代表取締役社長に就任（現在）

三重経協活動報告

第6回女性懇話会開催

桜満開の4月4日（木）に第6回女性懇話会を開催しました。今回は伊賀女傑講話・事業所視察及び懇談会としまして、伊賀のだんじり会館、組紐工房「廣澤徳三郎の店」、(株)サカキバラに14名で伺いました。

まず初めに、だんじり会館では（社）伊賀上野観光協会会長で組紐工房「廣澤徳三郎の店」の店主であられる廣澤 浩一 氏に、伊賀上野NINJAフェスタ（4月1日～5月6日迄）の運営に関するこれまでの失敗談や海外での忍者周知活動などをご講話頂き、その後、超大型プロジェクターにより300インチのスクリーン3面で、城下町伊賀上野の風土と自然について、四季を追って映し出された迫力ある映像を観賞しました。

次に伊賀流忍者博物館へ移動し、忍者屋敷のからくりなどの説明を伺いました。そして、組紐工房「廣澤徳三郎の店」では、実際に廣澤さんに組紐の実演を見せて頂き、組紐の図柄は素人から見ると複雑な設計図のようでした。その後、昼食懇談会をはさみ、最後に段ボールケース製造販売の(株)サカキバラさんを視察し、取締役会長 榊原 郁子 氏による伊賀女傑講話を伺いました。(株)サカキバラさんは昭和32年に愛知県常滑に(有)榊原木工所段ボール部を設立し、昭和38年2月に上野市に進出されました。郁子さんは今年78歳で現在、長男が社長、二男が専務と兄弟夫婦仲良くお仕事されております。



講話する廣澤浩一氏

郁子さんは大変お元気で、ママさんバレー、グランドゴルフなど未だ現役。今年78歳とは思えないパワー溢れる会長さんでした。参加者一同、大変感銘をし帰路に着きました。



講話をする榊原郁子氏



組紐工房にて



伊賀流忍者博物館にて記念撮影

(株)サカキバラにて

「みえ・花しょうぶサミット発足会」

4月16日（火）ホテルグリーンパーク津において、「みえ・花しょうぶサミット発足会」を開催いたしました。当日は70名の参加でした。尚、当協会女性懇話会より11名の参加がありました。この発足会は三重県の依頼により三重県内における女性経営者等のネットワークを構築することを目的に県内5団体で発足したものです。当協会女性懇話会も参加団体として参加致しております。

伊藤会長（三重県中小企業レディース中央会会長）の挨拶に続いて、下記のプログラムで開催されました。



発足会風景

◆プログラム

1. 来賓挨拶（三重県副知事 石垣 英一氏）
2. 申合せ事項説明
3. 参加団体プロフィール説明
4. 記念スピーチ

テーマ：「This is My Life」

講師：NPO法人五十鈴塾



講演する東雲氏

事務局長 東雲 あきら 氏（元OSK日本歌劇団所属）

労務管理改善協力委員会(5月共通部会活動報告)

5月15日(水)プラザ洞津「末広の間」において、労務管理改善協力委員会5月共通部会を開催いたしました。

佐々木第1部会長(上野キヤノンマテリアル(株))の挨拶に続いて、第1部に講演が行われました。引き続き第2部として古市第2部会長(株)三交ドライビングスクール)の挨拶の後、講演が行われました。その後、両部会合同の情報交換会があり、新たに入られた方々もご参加頂き有意義な部会になりました。当日は46名の参加者がありました。



挨拶する佐々木第1部会長

◆プログラム

第1部「中間管理職の役割と部下の育成について」

講師：大地 勉氏(株)百五経済研究所 経営コンサルティング部 部長兼主席研究員)

第2部「改正高齢法・改正労働契約法に伴う対応について」

講師：大地 勉氏(株)百五経済研究所 経営コンサルティング部 部長兼主席研究員)

第3部 情報交換会



挨拶する古市第2部会長



講演する大地講師



共通部会風景

第62回労管コンペ開催

5月23日(木)松阪カントリークラブにおいて、第62回労管コンペが開催されました。

当日は快晴で、風は時より強風ではありましたが恵まれた天候でした。21名(IN3組・OUT3組)が参加され、スタート前に労管会長の横井会長より開会の挨拶があり、熱戦の結果、優勝者は武藤 隆行氏(三交興業(株)取締役営業推進部長)に決まり、横井労管会長より優勝トロフィー並びに優勝賞品が授与されました。

今回は、初参加の方も見え、皆さんプレーをしながら懇親を深められました。次回は、秋に三重カントリークラブにて三重経協会員親睦コンペを開催する予定であります。



優勝トロフィーを横井労管会長(左)より授与される武藤氏(右)



労管コンペ参加者メンバー

【順位表】

順位	氏名	会社名・職名	GROSS	H'CP	NET
優勝	武藤 隆行	三交興業(株) 取締役営業推進部長	97	24.0	73.0
準優勝	古市 正典	(株)三交ドライビングスクール 常務取締役	90	15.6	74.4
第3位	小田 隆	グリーンストック(株) 代表取締役	102	26.4	75.6
第4位	大下 貴広	ジブラルタ生命(株)三重エリア 三重第四支部長	102	25.2	76.8
第5位	坂崎 修二	(株)水谷運輸倉庫 取締役管理部長	100	22.8	77.2

※同スコアの場合、年長者を上位とする。

インターンシップ事前研修会開催

6月15日（土）プラザ洞津「飛翔の間」において、インターンシップ事前研修会を開催いたしました。

今回は過去最高の約200名と多くの学生の参加を数えました。当日は、企業側からの講演、先輩学生からの体験談、更に今年度新たな講師を迎えて実際に数名が前に出て実技や身だしなみチェックを交え、又、講師がそれぞれの項目で直接参加者に質問を行い、例年以上に学生の熱心に聞き入る態度と若い活気に包まれ、大変有意義な研修会になりました。又、一部県外からの参加もあり、年々インターンシップの重要性が感じられた研修会でした。



研修会風景



前に出て学生に身だしなみチェックを行う



講演する百五銀行(株) 荒木田人事課長



発表する鈴鹿短期大学 伊藤真莉乃さん



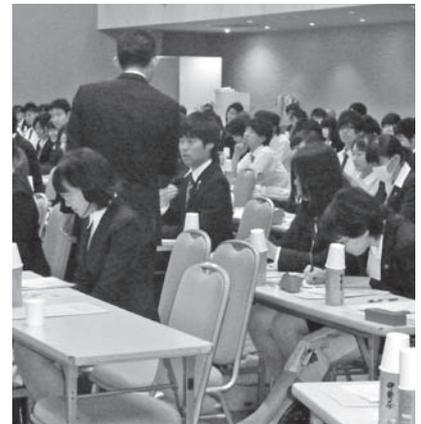
発表する三重大学 林保菜美さん

◆プログラム

- I. 開会挨拶（当協会西場専務理事）
- II. 企業側講演 テーマ：「インターンシップを通じて学生に望むこと」
百五銀行(株) 人事課長 荒木田 豊 氏
- III. 学生体験談 テーマ：「インターンシップで得たもの」（体験談）
①鈴鹿短期大学学生 伊藤 真莉乃 氏
②三重大学学生 林 保菜美 氏
- IV. 「インターンシップとビジネスマナー」
講師：(株)O-GOE 代表取締役 杉山 豊 氏
①インターンシップとは
②ビジネスマナーとは
③実践的ビジネスマナー
- V. 閉会挨拶（当協会事務局）



講演する杉山講師



学生に直接質問する杉山講師



最後に全員で挨拶

中部経協三県連携事業

中間管理職講座第1回「管理職マネジメント基礎講座」開催

～グローバル時代に求められるビジネスパーソン像と管理職の育成～

6月21日（金）プラザ洞津「紅葉の間」において、中間管理職講座第1回「管理職マネジメント基礎講座」を開催いたしました。

この講座は今年度の新しい取り組みの一環で、中部経協三県連携事業としてスタートし、(株)ヒューマンブレインの取締役シニアコンサルタント 稲垣正己氏を講師に24名の参加者で行われました。

この講座は、1日コース年4回シリーズで、各企業の主に次代を担う管理職を中心に4グループに分かれ実践を踏まえて行われました。個々の参加者も始めは緊張されていましたが、段々とグループで討論しながら進める内に、活発な意見も繰り広げられておりました。また、リーダーシップに必要なPOWER診断とタイプ別診断を個々に行い、皆さん実際に行って大半が当てはまる状況でした。この講座で、講師からパラダイムの変換（ものごとの根底にある価値観、考え方）を変える事が大切であるとの内容で、非常に有意義な講座となりました。



講義する稲垣講師



討議風景

◆主なプログラム

- ・世の中の流れ
- ・他の人に興味を持つ
- ・環境の変化と企業活動
- ・変えるということ（パラダイム・チェンジ）
- ・POWER診断
- ・タイプ別診断
- ・リーダーシップ

第2回 中間管理職講座のお知らせ

テーマ：「管理職部下育成講座」

～グローバル時代に求められるビジネスパーソン像と管理職の育成～

○日 時：平成25年9月19日（木）10：00～16：30

○場 所：プラザ洞津 3F「紅葉の間」

津市新町1丁目6-28（津新町駅西）TEL 059-227-3291

○定 員：30名 ※定員になり次第、受付終了致します。

○受講料：会員会社1名につき 10,000円（テキスト代含む）

非会員会社 〃 18,000円（テキスト代含む）

※教育会員の方は受講料は不要

労働保険実務講座

4月23日（火）プラザ洞津「桐の間」において、労働保険（労災保険・雇用保険）実務講座を開催いたしました。

当日は17名の参加があり、特定社会保険労務士 小岩 広宣 氏（社会保険労務士法人ナデック 代表社員）から今年度改正された改正労働契約法・改正高齢法の説明後、労働時間の基礎が説明されました。

その後、労災になる災害・ならない災害の説明があり、労働保険の年度更新を実際に演習しながら行われました。また、当日はNHKの「ほっとイブニングみえ」で講座の内容が放送されました。



講演する小岩講師

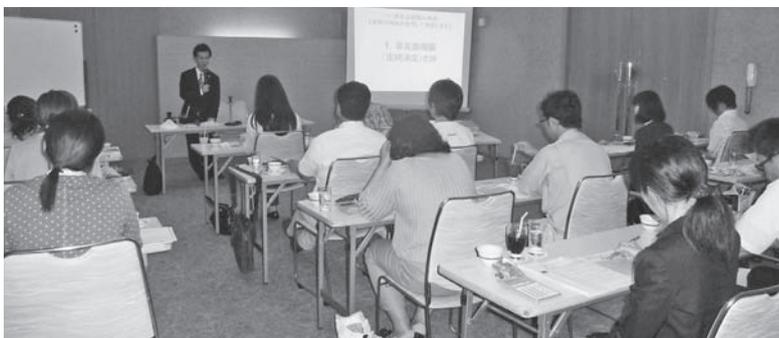


講座風景

社会保険実務講座

6月26日（水）プラザ洞津「桐の間」において、社会保険（健康保険・厚生年金保険）実務講座を開催いたしました。

当日は19名の参加があり、特定社会保険労務士 小岩 広宣 氏（社会保険労務士法人ナデック 代表社員）から冒頭、社会保険調査の実態と企業防衛策（年金事務所の調査の内容・対策）についての説明後、社会保険料の適正化（削減するポイント）が説明され、算定基礎届・月額変更届を実際用の紙を使いながら演習を致しました。今回、初めて担当される方もお見えになり、項目事に丁寧に説明しながら進められ、最後に社会保険実務で気をつけたいことのQ&Aの説明を受けました。



講座風景



講演する小岩講師



会員発HOTニュース

会員企業の最新HOTニュース(企業PR・店舗紹介・新商品・新サービス・新装オープン等)をお届けいたします。

■事業案内(株式会社 東芝セミコンダクター&ストレージ社四日市工場)

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

『記憶力』製造拠点

世界中に広がるデジタルライフ
「記憶」の過去と未来を担う情報ストレージ”フラッシュメモリ”
果てしない限界に挑み続ける東芝四日市工場の技術が豊かな明日を創造する

株式会社東芝 四日市工場 | TOSHIBA CORPORATION
Semiconductor & Storage Products Company

■事業案内(株式会社 松阪カントリークラブ)

早朝ハーフ実施中 9/16まで

朝早い時間に涼しくハーフプレー。1日の時間を有効活用できます。
スタート時間:7:15~7:30 茶店・レストランは営業していません。
浴場はシャワーのみ利用可

◆ハーフプレー料金

	平日	土日祝
松阪CC会員様	3,030円	
ビジター様	3,730円	4,430円

オアシスカップ開催 7/24(水) 8/28(水)

どなたでもご参加いただけるオープンコンペです。
多彩な賞品をご用意致します。

料金	セルフ	キャディ付	松阪CC会員様は会員料金
ビジター様	7,480円	10,480円	昼食券(1,050円付) 参加料別途1,000円

松阪カントリークラブ

〒515-0043 三重県松阪市下村町2160番地
TEL. 0598-29-2911 Fax. 0598-29-2930

■事業案内(株式会社 伊勢出版)

機 動 性
柔 軟 性
職 人 芸

スピード 小廻り わざがとります。

デザイン制作から製版、印刷、製本まで
社内一貫生産体制。

印刷のプロフェッショナル

ISO27001
認証取得

M-EMS
認証取得

小口・小物専門高速印刷ショップ

名刺
30分

ハガキ
60分

姉妹店

マツマル

印刷のコンビニ
〒514-0815 三重県津市藤方亀の越978番地
TEL 059-221-1777・FAX 059-221-1700

株式会社 伊勢出版

〒514-0815 三重県津市藤方亀の越 977 番地
TEL 059-225-8212 (代表) FAX 059-225-9431
大阪営業所 大阪市天王寺区東高津町 3-16 ジェイ・プラント上本町ヒルズ 402

※ご応募はメール(info@miekeikyo.jp)で承ります。詳細はメールでお知らせします。(掲載は応募順)

若年者・非正規雇用対策について

「若者応援企業宣言」をしませんか？

「若者応援企業宣言」事業とは

一定の労務管理の体制が整備されており、若者（35歳未満）のための求人をハローワークに提出している企業であって、通常の求人情報よりも詳細な企業情報・採用情報を積極的に公表する中小・中堅企業を「若者応援企業」として積極的にPR等を行う事業です。

三重労働局では、若者応援企業宣言を行った「若者応援企業」の情報を、三重労働局のホームページ <http://mie-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/> で公表すると共に、各ハローワーク等を通じて大学等へ積極的にPRし、就職面接会等の各種イベントを開催するなど積極的な求人充足に向けた対策を行っていきます。

【お問合せ】 三重労働局職業安定部 求職者支援室 (☎ 059-261-2941)

若者の人材育成に取り組む事業主の皆さまを支援します！

若者チャレンジ奨励金（若年者人材育成・定着支援奨励金）のご案内

35歳未満の非正規雇用の若者を、自社の正社員として雇用することを前提に、自社内での実習（OJT）と座学（Off-JT）を組み合わせた訓練（若者チャレンジ訓練）を実施する事業主の方に奨励金を支給します。

訓練奨励金	訓練実施期間に訓練受講者1人1ヵ月当たり15万円
正社員雇用奨励金	訓練終了後、訓練受講者を正社員として雇用した場合に、1人当たり1年経過後に50万円、2年経過後に50万円（計100万円）

【お問合せ】 三重労働局職業安定部 求職者支援室 (☎ 059-261-2941)

有期契約労働者、短時間労働者および派遣労働者等の企業内でのキャリアアップに取り組む事業主を支援します！

キャリアアップ助成金のご案内

非正規雇用問題に対する取り組みの一環として、有期契約労働者等の企業内でのキャリアアップ等を支援する事業主に対する包括的な助成制度（有期契約労働者等の正規雇用への転換、人材育成、処遇改善など）が創設されました。

正規雇用等転換コース	有期契約労働者等の正規雇用等への転換または派遣労働者の直接雇用化を行った事業主に対して助成	有期契約労働者⇒正規雇用1人あたり30万円(中小企業40万円) 有期契約労働者⇒無期雇用1人あたり15万円(中小企業20万円) 無期雇用労働者⇒正規雇用1人あたり15万円(中小企業20万円)
人材育成コース	有期契約労働者等に対して職業訓練を行った事業主に対して助成	Off-JT 賃金助成1時間あたり500円（中小企業は800円） 訓練経費助成 実費相当額上限15万円(中小企業は20万円) OJT訓練実施助成1時間あたり700円(中小企業は700円)
処遇改善コース	有期契約労働者等の賃金水準の向上(※)を図った事業主に対して助成 (※)賃金テーブルを3%以上増額改定	1人あたり7,500円(中小企業は1万円) 職務評価を活用の場合、1事業所あたり75,000円を加算 (中小企業は10万円)
健康管理コース	有期契約労働者等に対して法定外の健康診断制度を導入した事業主に対して助成	1事業所あたり30万円(中小企業は40万円)
短時間正社員コース	短時間正社員への転換や新たな雇入れを行った事業主に対して助成	1人あたり15万円(常時雇用する労働者が300人を超えない中小規模企業の場合20万円)
短時間労働者の週所定労働時間延長コース	短時間労働者の週所定労働時間の延長(※)を行った事業主に対して助成 ※対象労働者の週所定労働時間を30時間以上に延長し社会保険を適用	1人あたり75,000円(中小企業は10万円)

【お問合せ】 三重労働局職業安定部 職業対策課 (☎ 059-226-2306)

暑中お見舞い 申し上げます



三重県経営者協会

会 長	岡 本 直 之
副 会 長	高 崎 征 輝
副 会 長	稲 葉 邦 成
副 会 長	浅 田 剛 夫
副 会 長	内 田 淳 正
副 会 長	小 川 謙 夫
副 会 長	真 壁 雅 夫
副 会 長	渡 辺 友 治
専 務 理 事	西 場 康 弘

(50音順)

<p>株式会社 R・E コンサルタント 経営と労務・福祉・IT・人材育成 代表取締役 小林 吉 光</p>	<p>伊勢赤十字病院 病院長 村 林 紘 二</p>
<p>旭鍍金株式会社 代表取締役社長 藤 川 勝 彦 TEL 059-234-9555</p>	<p>ISO27001情報管理国際認証取得 総合印刷・出版 伊藤印刷株式会社 代表取締役 伊 藤 孝 行</p>
<p>フィッシング遊  アサヒレジャー株式会社 代表取締役社長 上 野 精 一</p>	<p>今村会計事務所 所長・税理士 今 村 元 宣</p>
<p>おかげさまで創立35周年!! 印刷のプロフェッショナル 株式会社 伊勢出版 ISO27001認証取得工場 代表取締役 玉 井 信 吾</p>	<p>人を取り巻く全ての予防衛生を支援します 株式会社 イムテス 代表取締役社長 小 林 眞一郎</p>
<p>ISE 伊勢新聞社 代表取締役社長 小 林 千 三</p>	<p>おいしい!の笑顔をつくる ii 井村屋グループ株式会社 代表取締役会長(CEO) 浅 田 剛 夫 代表取締役社長(COO) 寺 家 正 昭</p>

<p>CS (顧客満足) の向上と人材育成</p> <p>有限会社 エム・アル・シー</p> <p>代表取締役 足坂 三長 取締役 井ノ口 美津子</p>	<p>御在所 GOZAISHO ROPEWAY ロープウェイ</p> <p>取締役社長 辻 孝巳</p>
<p>有限会社 オーピーエス</p> <p>岡島パソコンスクール</p> <p>代表取締役 岡島 久美子</p>	<p>人と環境を大切に 技術開発型企業</p> <p>—当社は専用工作機械及び金型部品メーカーです—</p> <p>株式会社 小林機械製作所</p>
<p>創業29年 ~ありがとうございます~ ~まごころこめて~製造・物流サポートします</p> <p>OUSES オールユーズ株式会社</p> <p>代表取締役 木下 隆生</p>	<p>三交興業株式会社</p> <p>名阪関ドライブイン 名阪上野ドライブイン</p> <p>取締役社長 脊古 彰生</p>
<p>冷凍/空調/電気 工事・メンテナンスなら 「地域密着!顧客満足度120%」の</p> <p>有限会社 奥田冷機</p> <p>代表取締役 奥田 幸広</p>	<p>安全・安心・快適</p> <p>株式会社 三交タクシー</p> <p>取締役社長 山谷 行雄</p>
<p></p> <p>株式会社 おやつカンパニー</p> <p>代表取締役社長 松田 好旦</p>	<p> 株式会社三交ドライビングスクール</p> <p>四日市自動車学校 名四自動車学校</p> <p>取締役社長 井田 光昭</p>
<p> ふれあい・たいせつに きゅーとら</p> <p>代表取締役 清水 秀隆</p>	<p>三交不動産株式会社</p> <p>取締役社長 森口 文生</p>
<p> 農業屋</p> <p>クラギ株式会社</p> <p>代表取締役社長 竹内 秀樹</p>	<p>jic JINZAI 特定非営利活動法人 IKUSEI CENTER 人材育成センター</p> <p>理事長 平塚 秀敏</p>
<p> 学校法人 皇學館</p> <p>皇學館大学 皇學館高等学校・皇學館中学校</p> <p>理事長 佐古 一洵</p>	<p>新生サポート株式会社</p> <p>代表取締役 清本 健一郎</p>

 <p>響いてこそ技術 シンフォニアテクノロジー</p> <p>執行役員 伊勢製作所長 三木利夫 ((旧)神鋼電機より社名変更致しました)</p>	<p>東邦液化ガス株式会社三重支店</p> <p>支店長 寺本勝治</p>
 <p>SUZUKA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE 鈴鹿医療科学大学</p> <p>理事長 高木純一 学長 豊田長康</p>	 <p>中部電力グループ</p> <p>株式会社 トーエネック 三重支店</p> <p>執行役員支店長 安川勤</p>
<p>学校法人 享栄学園 鈴鹿国際大学 鈴鹿短期大学</p> <p>学長 出雲敏彦</p>	<p>湯めぐり海百景 鳥羽シーサイドホテル</p> <p>代表取締役社長 橋上猛</p>
<p>経協会員優待あり</p> <p>shunmiwasai ■ TSUKASA</p>  <p>旬味和彩</p> <p>〒510-0075 三重県四日市市安島1丁目1-20 三交イン四日市駅前2F TEL:059-350-2300</p>	<p>ナガシマリゾート 長島観光開発株式会社</p> <p>取締役社長 稲葉邦成</p>
<p>セキュリティーコスト削減 お任せください</p> <p>(株)セフティージャパン</p> <p>代表取締役社長 加藤智</p>	<p>中辻医科器械株式会社</p> <p>代表取締役 三宅克治</p>
<p>助成金・就業規則承ります。</p> <p>総合経営労務センター</p> <p>田中克己特定社会保険労務士事務所 TEL:059-222-1198 FAX:059-222-2918</p>	<p>日本トランスシティ株式会社</p> <p>代表取締役会長 小林長久</p>
<p>限りある資源を大切に</p> <p>中部ドラム罐工業株式会社</p> <p>代表取締役社長 石津英尚</p>	<p>公立学校共済組合津宿泊所</p> <p>プラザ洞津</p> <p>支配人 鎌田敏明 TEL 059-227-3291</p>
<p>TOSHIBA Leading Innovation >>></p> <p>株式会社 東芝</p> <p>セミコンダクター&ストレージ社 四日市工場 工場長 渡辺友治 TEL 059-330-1001</p>	<p>日東カストディアル・サービス株式会社 三重営業所</p> <p>所長 増井隆志</p>

<p>株式会社 松阪カントリークラブ</p> <p>取締役社長 岡本直之 TEL:0598-29-2911</p>	<p>三重交通商事株式会社</p> <p>取締役社長 牧田孝</p>
<p>MCC CORPORATION</p> <p>株式会社 松阪鉄工所</p> <p>代表取締役社長 安西秀一</p>	<p>地域に根ざし世界に誇れる</p> <p> 国立大学法人 三重大学</p> <p>学長 内田淳正</p>
<p>三重いすゞ自動車株式会社</p> <p>代表取締役社長 川村則之</p>	<p>三重テレビ放送株式会社</p> <p>代表取締役社長 志田行弘 TEL:059-226-1133</p>
<p>〈昭35.10.開場〉</p> <p> 株式会社 三重カントリークラブ</p> <p>取締役社長 伊比昌弘</p>	<p>セキュリティのトップメーカー 美和ロックは「安全」と「安心」を創造しお届けしています。</p> <p> MIWA</p> <p>美和ロック株式会社</p>
<p>「快適なタクシー」</p> <p> 三重近鉄タクシー株式会社</p> <p>代表取締役社長 横山雅史</p>	<p>地域の安全と快適を約束する 警備事業・バス事業(名阪交通バス)</p> <p>株式会社 メイハン</p> <p>代表取締役 田畑博</p>
<p>三重県観光開発株式会社</p> <p>取締役社長 宮脇栄治</p>	<p> 株式会社 安永</p> <p>Yasunaga 代表取締役社長 安永暁俊</p>
<p>がんばる企業を応援します!</p> <p> 三重県信用保証協会</p> <p>ホームページアドレス http://www.cgc-mie.or.jp/</p>	<p>消防防災で安全安心を創る</p> <p>株式会社 山口商会</p> <p>代表取締役社長 山口久彦</p>
<p>三重交通株式会社</p> <p>取締役社長 森口明好</p>	<p>トップレベルの環境貢献企業を目指す</p> <p>横浜ゴム株式会社 三重工場</p> <p>工場長 高木誠 TEL:0596-28-3151</p> <p> YOKOHAMA</p>

三重労働局委託事業

「中小企業相談支援事業」 をご利用ください！

対応内容



無料

相談窓口はこちら



中小企業相談支援事業三重県最低賃金総合相談支援センター

〒514-8691 津市丸之内養正町4-1 森永三重ビル3F 三重県経営者協会内

TEL.059-226-0033 <http://miekeikyo.jp/>

開設日は、原則、土・日・祝日を除く平日とします。なお、出張相談を四日市、伊勢において月4日、尾鷲において月3日開設しています。詳しくは、三重県経営者協会のホームページをご確認下さい。

三重県労働委員会のご案内 ～より良い労使関係をバックアップします～

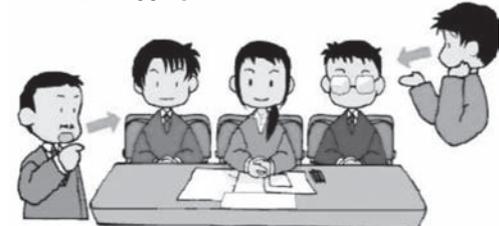
労働委員会は、労使間の問題を当事者で解決することが困難な場合、より良い労使関係を築くために、中立・公正な立場で、紛争の早期解決をお手伝いする機関です。

●労使紛争のあっせん

労働組合や労働者と使用者の間で発生した労働条件等の問題について、当事者間で自主的な解決が困難な場合に、あっせん員が双方の言い分を聞き、紛争解決のために適切な助言を行うなど、紛争の迅速な解決を支援します。

- 一時金の交渉について、労働組合との折り合いがつかない。
- 従業員に配置転換を命じたが、理由もなく拒否している。
- 懲戒解雇した従業員から裁判所に訴えられている。

あっせん作業



あっせん員が双方から事情を聞き、指導・助言を行い、歩み寄りを図ります。

解決または打ち切り



双方の意見が一致すれば解決。
解決の見込みがない場合は打ち切りとなります。

問い合わせ先 三重県労働委員会事務局

(〒514-0004 津市栄町1丁目954 三重県栄町庁舎5階)
TEL 059-224-3033 FAX 059-224-3053



平成26年4月1日スタート
「みえ森と緑の県民税」を導入します。

問い合わせ先

農林水産部 みどり共生推進課
☎ 059-224-2513
FAX 059-224-2070
✉ midori@pref.mie.jp

総務部 税務・債権管理課
☎ 059-224-2127
FAX 059-224-4321
✉ zeimu@pref.mie.jp

三重県では「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、3月の県議会での議決を経て、平成26年4月1日から「みえ森と緑の県民税」をスタートすることになりました。

納めていただいた税金は、森林づくりのほか、子どもたちに森林の大切さを学んでもらう森林環境教育や、県産材を活用した公共建物等の木造・木質化などに役立てていきます。

ご負担いただく金額は、現行の県民税均等割に上乗せする形で、1年間に、個人では千円、法人では県民税均等割額の10%相当額(2千円～8万円)となります。

くらしの安全・安心を守り、豊かな森林を次の世代に引き継いでいくため、皆さんのご理解・ご協力をお願いします。

「みえ森と緑の県民税」は、県民税均等割に上乗せして納めていただきます。

個人 平成26年度分から課税

- 1月1日現在で県内に住所がある方
- 1月1日現在で県内に家屋敷等を有する方

税額(年)：1,000円

- ※次の方には課税されません。
- 生活保護法の規定による生活扶助を受けている方
 - 障がい者、未成年者、寡婦または寡夫で、前年の合計所得金額が125万円以下の方
 - 前年の合計所得金額が市町の条例で定める金額以下の方

法人 平成26年4月1日以後に開始する事業年度分から課税

- 県内に事務所等を有する法人等

税額(年)：均等割額の10%相当額

資本金等の額	年税額
50億円超	80,000円
10億円超、50億円以下	54,000円
1億円超、10億円以下	13,000円
1千万円超、1億円以下	5,000円
上記以外の法人等	2,000円

※施行後、おおむね5年ごとに見直しを行います。

個人住民税は、所得税と同じく事業主による徴収が必要です。

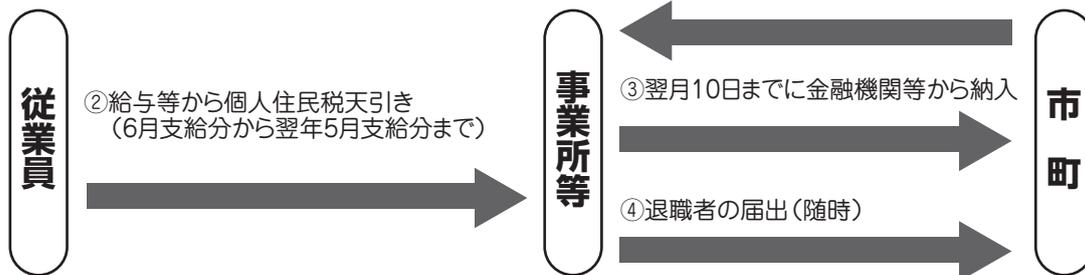
事業主の皆さまへ

事業所等に勤務されている方の個人住民税(市町民税+県民税)は、所得税と同様に、原則として、事業主の皆さまに徴収をしていただいた上で、課税した市町に納入していただくことが必要です。

※このような納入の仕組みを「特別徴収」といいます。

三重県と県内市町では、平成26年度から、法定要件に該当する事業主の皆さまに個人住民税の特別徴収を実施していただくための準備を進めています。ご理解とご協力をお願いいたします。

個人住民税の特別徴収制度の概要



問い合わせ先 各市町の住民税担当課または総務部 税収確保課

TEL 059-224-2133 <http://www.pref.mie.lg.jp/ZEIMU/HP/> 三重県税のページで 検索



新会員の紹介

河村産業株式会社

事業内容 電子電気部品製造加工
 代表者 代表取締役 河村 常雄
 所在地 四日市市西大鐘町 330
 電話 059-337-1122
 F A X 059-337-1125
 ホームページ <http://www.kawamura-s.co.jp>



株式会社津センター 津都ホテル

事業内容 宿泊業
 代表者 総支配人 田端 佳之
 所在地 津市大門7-15
 電話 059-228-1111
 F A X 059-227-3764
 ホームページ <http://www.miyakohotels.ne.jp/tsu>



株式会社アドプランナー 三重営業所

事業内容 一般広告代理業
 代表者 三重営業所 所長 夏目 俊哉
 所在地 四日市市大井手1-5-24
 電話 059-350-7751
 F A X 059-350-7768
 ホームページ <http://www.ap-net.co.jp>



デュプロ販売株式会社 三重営業所

事業内容 事務用機器販売
 代表者 所長 服部 孝利
 所在地 四日市市久保田2-7-5
 電話 059-353-0935
 F A X 059-354-3221
 ホームページ <http://www.duplo.ne.jp>



ご存知ですか…こんな機関？

出向・移籍支援事業

「失業なき労働移動」をめざして

人材
送出
企業

- 人員に余剰感がある
- 雇用調整を検討している

- 一時的に仕事量が減り社員の出向先を探しておられる企業
- 支店閉鎖、工場閉鎖などで社員の移籍先を探しておられる企業
- 工場移転を計画されており人材の過不足が発生する企業
- 不採算部門があり人材の移動を考えておられる企業
- 事業規模の縮小を計画されている企業
- 65歳までの継続雇用が自社内では困難で、該当者の再就職を支援したい企業

産業雇用
安定センター
三重事務所

送出情報の
収集・登録

受入情報の
提供

受入情報の
収集・登録

送出情報の
提供

企業ごとの話し合い・面接

出向・移籍の成立

無料

人材
受入
企業

- 事業の拡大、欠員発生などにより、必要な要員を確保したい企業
- 新規部門に精通した人材を採用したい
- 経験豊富な即戦力の人材を確保したい企業

- 人員が不足している
- 人材の補充を検討している

当センターをご利用いただく場合は
前もってご連絡ください。

公益財団法人
産業雇用安定センター 三重事務所
TEL 059-225-5449

業務日誌
2013.4.6

事業名	とき	ところ
第6回女性懇話会	4/4(木)	だんじり会館・伊賀流忍者博物館・組紐工房 「廣澤徳三郎の店」・(株)サカキバラ
みえ・花しょうぶサミット発足会	4/16(火)	ホテルグリーンパーク津
労働保険実務講座	4/23(火)	プラザ洞津
労務管理改善協力委員会5月共通部会	5/15(水)	プラザ洞津
第62回労管コンベ	5/23(木)	松阪カントリークラブ
平成25年度定時会員総会	6/6(木)	津都ホテル
インターンシップ事前研修会	6/15(土)	プラザ洞津
中間管理職講座 第1回「管理職マネジメント基礎講座」	6/21(金)	プラザ洞津
社会保険実務講座	6/26(水)	プラザ洞津



三重県経営者協会

TEL 059-228-3557

FAX 059-228-3710

ホームページ

<http://miekeikyo.jp>

E-mail

info@miekeikyo.jp

平成25年7月25日 発行
発行人／三重県経営者協会

〒514-8691 津市丸之内養正町4-1 森永三重ビル3F